

=====

賛助会員

北海道栽培漁業振興公社 060 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道第二水産ビル4階

阿寒観光汽船株式会社 085-04 北海道阿寒郡阿寒町字阿寒湖畔

株式会社 シロク商会 260 千葉市春日1-12-9-103

全国海苔貝類漁業協同組合連合会 108 東京都港区高輪2-16-5

有限会社 浜野頭微鏡 113 東京都文京区本郷5-25-18

株式会社ヤクルト本社研究所 189 東京都国立市谷保1769

田崎真珠株式会社田崎海洋生物研究所 779-23 徳島県海部郡日和佐町外ノ牟井

神協産業株式会社 742-15 山口県熊毛郡田布施町波野962-1

理研食品株式会社 985 宮城県多賀城市宮内2丁目5番60号

株式会社白寿保健科学研究所 原 昭邦 351 朝霞市栄町3-3-7

=====

日本の赤潮生物

写真と解説

福代康夫・高野秀昭 編
千原光雄・松岡数充

B5判(上製函入) 424頁
定価13,390円(〒360円)

赤潮の発生を予防するためには、赤潮の発生原因となる種をできるだけ正確に分類、同定することが必要である。本書は、主に日本近海および日本の海水域に出現する200種の赤潮生物を収録したものであり、その貴重な顕微鏡写真、録画、解説、文献等と共に、赤潮生物の分類・同定に必携の書である。本書のえとなった「赤潮生物シート」(水産庁1979~1984)は6年間にわたって集めたものを、今回改めて分類群別に編集し、近年の新知見を加えて現状にあう書とした。

〔特色〕収録種は、藍藻8種、クリプト藻2種、渦鞭毛藻70種、珪藻80種、ラフィド藻9種、黄金色藻6種、ハプト藻4種、ユーグレナ藻8種、ブラシノ藻5種、緑藻1種原生動物2種の計200種。★1種見開き2頁にまとめられており、まず写真・図があり、続いて写真説明、和文記載、英文記載、文献が記述されている。★写真は研究者秘蔵のもの、および本書のために新しく製作した。★写真・図はA,B,C……と記号が付けられ、和文説明が記されている。★和文記載は以下の特徴が記されている。①細胞の性状、外形と大きさ ②細胞構造 ③生殖法、生活史 ④生態と分布 ⑤類似種との比較、分類学的位置、学名の変遷 ⑥その他(呈内容見本)

藻類の生態

秋山 優・有賀祐勝 共編
坂本 充・横浜康継

A5判(上製函入) 640頁
定価13,184円(〒410円)

1 水界生態系における藻類の役割—有賀祐勝* 2 水界環境と藻類の生理—藤田善彦* 3 藻類の生活圏—秋山優* 4 海洋植物プランクトンの生産生態—有賀祐勝* 5 湖沼における植物プランクトンの生産と動態—坂本充* 6 自然界における藻類の窒素代謝—和田英太郎* 7 植物プランクトンの異常増殖—飯塚昭二* 8 海藻の分布と環境要因—横浜康継* 9 河川底生藻類の生態—小林弘* 10 汽水域の藻類の生態—大野正夫* 11 土壌藻類の生態—秋山優* 12 海水中の藻類の生態—星合孝男* 13 藻類と水界動物の相互作用—成田哲也* 14 藻のパーソニ—山本谿子* 15 藻類の細胞外代謝生産物とその生態的役割—大和田紘一* 16 藻類の生活史と生態—中原紘之* 17 藻類群集の構造と多様性—宝月欣二

各章末に掲載の多数の文献は読者にとって貴重な資料となろう。

シートでみる種の同定・分類 淡水藻類写真集

山岸高旺・秋山優編集

B5判・各100シート・ルーズリーフ式
第1巻・第2巻 各4,120円 送料360円
第3巻~第10巻 各5,150円

Photomicrographs of the Fresh-water Algae

日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺編 日本ではじめて創られた本格的な図鑑。淡水藻類の研究者や水に関係する方々にとっては貴重な文献である。定価37,080円

植物組織学

猪野俊平著 植物組織学の定義・内容・発達史から研究方法を幅広く詳述した唯一の書。

定価15,450円

藻類学総説

廣瀬弘幸著 藻類の分類と形態を重点に置いて、克明な図により丁寧に解説する。定価10,300円

ナマコとウニ

—民謡と酒のさかなの話—

大島廣著 B6・定価1,009円

内田老鶴圃

東京・文京区大塚3-34-3 Tel 03-945-6781 FAX 03-945-6782 (価格は税込)

Seaweed Ecology & Algal Farming

図鑑 海藻の生態と藻礁

編者＝徳田 廣・川嶋昭二・大野正夫・小河久朗

本書は、天然の海で海藻がどのような姿で生えているのかをつぶさに見てとることの出来る海藻生態図鑑であると同時に、人為的に投入した藻礁に如何にして海藻を生やすか、を紹介した世界に例のない図鑑でもある。

生態編では、緑藻42種、褐藻72種、紅藻80種、海草6種の総計200種をオールカラーで紹介。藻礁編では、藻礁、すなわち藻場造成用人工礁の構造や沈設位置を図示し、海中での藻礁上の海藻の生育状態、あるいは動物の集積状態を経時的に撮影した82点に及ぶカラー写真で示した。

藻場造成にかかわる方々はもちろんのこと、海洋環境の保全に意欲と関心をお持ちの一般の方々にも、本書は幅広く受け入れられるであろう。

■B5判 上製 総ページ 198p
カラーページ 179p
定価 14800円(税込/送サービス)



緑書房

〒171 東京都豊島区池袋2-14-4
☎03-3590-4441

情報処理印刷

ワープロ・データベース フロッピー・磁気テープが印刷へ直結

中西印刷株式会社

取締役社長 中西 亮

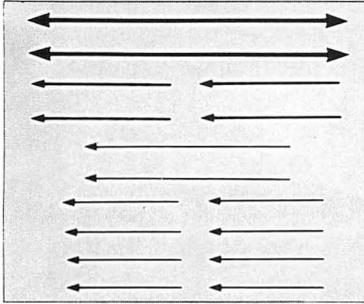
京都本社 602 京都市上京区下立売通小川東入ル
tel.075-441-3155 fax.075-441-3159

東京連絡所 113 東京都文京区本郷一丁目21-5
tel.東京03-3815-7465

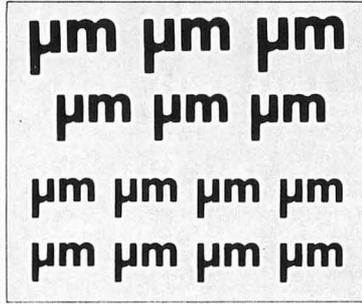
||||| 新製品ご案内!! |||||

レタリングシート (ブラック アンド ホワイト)

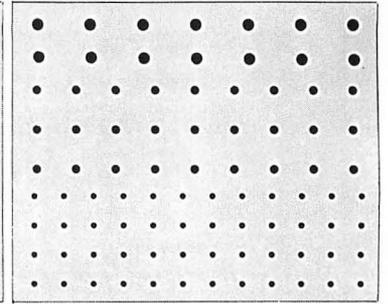
EMI NO. 82014



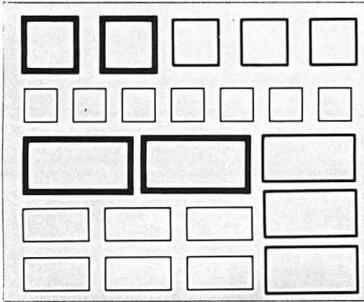
EMI NO. 82016



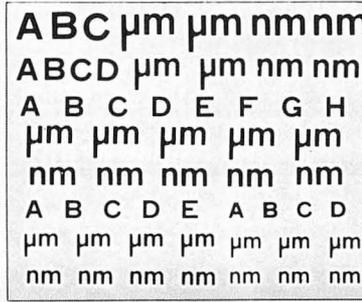
EMI NO. 86626



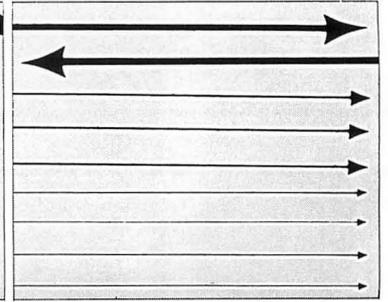
EMI NO. 86627



EMI NO. 86902

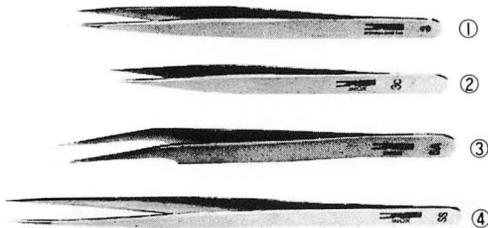


EMI NO. 86916



※レタリングシートの総合カタログが出来ました。下記の住所へカタログをご請求下さい。

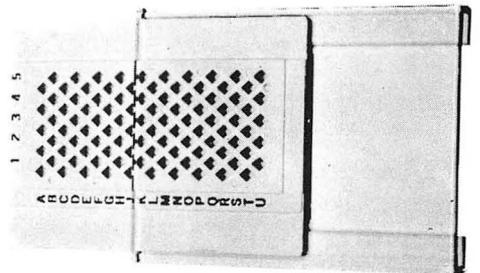
西独製 精密ピンセット



- ①時計ピンセット
- ②3Cピンセット
- ③5型変形ピンセット
- ④SS型ピンセット

各1本：¥2,200

EMグリッドボックス



1個：¥1,800 10個：¥15,000



EM資材直販センター

〒274 千葉県船橋市三山5-6-1 TEL.0474(75)5783
東京営業所：TEL.03(988)9906

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布致しますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号 1,750円、非会員各号 3,000円、30巻4号(創立30周年記念増大号、1—30巻索引付)のみ会員 5,000円、非会員 7,000円、欠号：1—2号、4巻1、3号、5巻1—2号、6—9巻全号。

2. 「藻類」索引 1—10巻、価格、会員 1,500円、非会員 2,000円、11—20巻、会員 2,000円、非会員 3,000円、創立30周年記念「藻類」索引、1—30巻、会員 3,000円、非会員 4,000円。

3. 山田幸男先生追悼号 藻類25巻増補. 1977. A 5版, xxviii + 418頁. 山田先生の遺影・経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文50編(英文26, 和文24)を掲載, 価格 7,000円。

4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編. 1972. B 5版, xiv + 280頁, 6図版. 昭和46年8月に札幌で開催された北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20編の研究報告(英文)を掲載. 価格 4,000円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究. 1977. B 5版, 65頁. 昭和49年9月に札幌で行なわれた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録. 4論文と討論の要旨. 価格 1,000円。

Publications of the Society

Inquiries concerning copies of the following publications should be sent to the **Japanese Society of Phycology, Shimotachiuri Ogawa Higashi, Kamikyoku, Kyoto, 602 Japan.**

1. **Back numbers of the Japanese Journal of Phycology** (Vols. 1–28, Bulletin of Japanese Society of Phycology). Price, 2,000 Yen per issue for member, or 3,500 Yen per issue for nonmember; price of Vol. 30, No. 4 (30th Anniversary Issue), with cumulative index (Vols. 1–30), 6,000 Yen for member, or 7,500 Yen for nonmember (incl. postage, surface mail). Lack: Vol. 1, Nos. 1–2; Vol. 4, Nos. 1, 3; Vol. 5, Nos. 1–2; Vol. 6–Vol. 9, Nos. 1–3.

2. **Index of the Bulletin of Japanese Society of Phycology.** Vol. 1 (1953)–Vol. 10 (1962), Price 2,000 Yen for member, or 2,500 Yen for nonmember; Vol. 11 (1963)–Vol. 20 (1972), Price 3,000 Yen for member, or 4,000 Yen for nonmember. Vol. 1 (1953)–Vol. 30 (1982), Price 4,000 Yen for member, or 5,000 Yen for nonmember (incl. postage, surface mail).

3. **A Memorial Issue Honouring the late Professor Yukio Yamada** (Supplement to Volume 25, the Bulletin of Japanese Society of Phycology). 1977. xxviii + 418 pages. This issue includes 50 articles (26 in English, 24 in Japanese with English summary) on phycology, with photographs and list of publications of the late Professor Yukio YAMADA. 8,500 Yen (incl. postage, surface mail).

4. **Contribution to the Systematics of the Benthic Marine Algae of the North Pacific.** Edited by I. A. ABBOTT and M. KUROGI, 1972. xiv + 280 pages, 6 plates. Twenty papers followed by discussions are included, which were presented in the U.S.-Japan Seminar on the North Pacific Benthic Marine Algae, held in Sapporo, Japan, August 13–16, 1971. 5,000 Yen (incl. postage, surface mail).

5. **Recent Studies on the Cultivation of *Laminaria* in Hokkaido** (in Japanese). 1977. 65 pages. Four papers followed by discussion are included, which were presented in a symposium on *Laminaria*, sponsored by the Society, held in Sapporo, September 1977. 1,200 Yen (incl. postage, surface mail).

1992年9月15日 印刷

1992年9月20日 発行

©1992 Japanese Society of Phycology

禁 転 載
不 許 複 製

編集兼発行者

石 川 依 久 子

〒184 小金井市貫井北町 4-1-1
東京学芸大学生物学教室内
Tel. 0423-25-2111 内線 2665

印 刷 所

中 西 印 刷 株 式 会 社

〒602 京都市上京区下立売通小川東入
Tel. 075-441-3155

発 行 所

日 本 藻 類 学 会

〒602 京都市上京区下立売通小川東入
Tel. 075-441-3155
振替口座：京都 1-50488

Printed by Nakanishi Printing Co., Ltd.

本誌の出版費の一部は文部省科学研究費補助金「研究成果公開促進費」による。

Publication of The Japanese Journal of Phycology has been supported in part by a Grant-in-Aid for Publication of Scientific Research Result from the Ministry of Education, Science and Culture, Japan.

藻類

目次

本村泰三：褐藻ワタモ受精過程での雌性配偶子由来セントリオールの消失	(英文)	207
清沢桂太郎：車軸藻節間細胞に対する pH 緩衝液の毒性	(英文)	215
Adam T. Wilczok・渡辺 信・川原早苗・鈴木和夫・菅原 淳：重金属耐性緑藻 <i>Chlorella vulgaris</i> と <i>Uronema confervicolum</i> による細胞内カドミウムの不活性化	(英文)	229
C. A. Orosco・大野正夫：日本南岸土佐湾産オゴノリ属海藻の成長速度	(英文)	239
熊野 茂・西海將雄・奥泉 剛・佐藤裕司：大阪湾北西沿岸・福田川河口（神戸市 垂水）に於ける珪藻遺骸群集の遷移，特に完新世堆積環境の変遷について	(英文)	245
内田卓志・有馬郷司：オキナワモズク胞子体から作出したプロトプラストの再生	(英文)	261
野崎久義・大谷修司：南極産の <i>Gonium sociale</i> (緑藻・オオヒゲマワリ目)	(英文)	267
能登谷正浩・菊池則雄・有賀祐勝・三浦昭雄：紅藻ウタスツノリの培養		273



ノート

Donald Kaczmarczyk・Robert G. Sheath：異なる光条件で生育した淡水産紅藻の色 素含量と C/N 比	(英文)	279
梶村光男：ジュズフサノリ（紅藻植物門，ガラガラ科）の選定基準標本の選定	(英文)	283
加藤季夫：プロピオンカーミン染色によるピレノイド・センターの2つの型の識別		287



総説

須藤俊造：海藻・海草相とその環境条件との関連をより詰めて求める試み		289
---	--	-----



雑録

有賀祐勝：髮菜 <i>Nostoc flagelliforme</i> (藍藻) の生育地と分布		307
片山舒康：小・中学校理科教科書における藻類の扱われ方 (1)これまでの教科書に みられる変遷		311
川嶋昭二：海藻標本で描いた絵		317
新刊紹介		319
学会録事		321
学術会議だより		322